

**TOKO** NO.150 2008.3.24 どの子ども地域の学校へ！公立高校へ！東部地区懇談会  
連絡先・春日部市大場690-3 Tel 048(737)1489 Fax 048(736)7192  
メール: [waraji@muf.biglobe.ne.jp](mailto:waraji@muf.biglobe.ne.jp) ホームページ: <http://members.at.infoseek.co.jp/TOKOnews/>



障害のある人もない人もゴチャゴチャぐらし

こども☆夢☆未来フェスティバルで  
(3.16県民活動総合センター)

☺ C O N T E N T S ☺

春休みTOKOおしゃべり会のお誘い	2
去年の新年アンケート一挙掲載	3
共に育ち・学ぶための地域情報	9
誰でも参加できるイベント情報	10

**ニュースななめ読み** 「知的障害児急増 3561人」、「教室不足『もう限界』」という大見出し(3.4読売)で始まった読売新聞県版のシリーズ「ルポ・障害児学校」は、12日までに6回、20日の反響からを含む7回の連載。「集中できる環境不十分」(3.5)、「バス通学 2時間超も」(3.6)、「学区再編しわ寄せ不満」(3.8)、「給食も手助け 教師に負担」(3.11)、「裁量握る県 対策後手続き」(3.12)と、養護学校拡充を訴える見出しが続いた。番外の反響から「『過密化 隔離のツケ』」、「『普通校通学 課題も』」と、読者の批判的な意見を載せた。「現場の努力や工夫だけではもう限界」という現場の悲鳴(3.4)を受けてのルポというのだが、この少子化時代になぜ養護学校の生徒だけが急増するのか？その分析が浅すぎる。「県特別支援教育課の吉田正・副課長は『障害の概念や範囲が変化してきたことが一因では』と指摘する。」(3.4)と書かれているが、障害の程度により望ましい就学先の判断を下す就学支援委員会の存在を抜きには語れない。「養護学校が社会に身近になり、保護者も子どもに合った学校を選べるようになりつつある。」「『ローマライゼーション』の理念が社会に浸透してきたことも背景にあると考えられている。」(いずれも3.4)という説明などではすまされない。

# 春休みTOKOおしゃべり会のお誘い



三寒四温という言葉のとおり、梅が盛りを過ぎ、桜のつぼみがふくらむ暖かさの日が続いたと思えば、冷たい雨が舗道をぬらす日々もある今日この頃です。高校入試は二次募集も終わり、少数の高校での欠員補充を残すのみとなっています。入学や進級、あるいは就職、それとも入所、さらには留年や浪人など、学校や進路をめぐる国境の街に近づいたいまこの時だから、越し方・行く末を、はたまた私達の立っ

ている地点を、はるかな宇宙ステーションから眺めてみませんか。生まれ、育ち、学び、働き、暮らし、社会を創り、自分を創ってゆく、人間という内なる宇宙へのツアーにご一緒しませんか。「障害」という黄金のカギを手がかりに。 TOKOツアーリスト

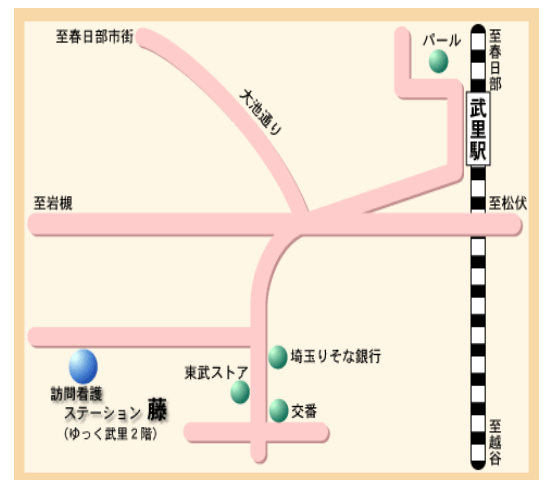
とき：3月30日(日)10:00～15:30

ところ：春日部市健康福祉センター「ゆっく武里」

埼玉県春日部市大枝89-7-4 048-733-5550 (せんげん台駅または武里駅西口よりバス・団地センターバス停下車1分)

かいひ：200円(資料代)

主なふるぐらむ



午前の部：情報提供と体験レポート

情報提供：春日部市・越谷市両市教委情報・高校入試情報など

体験レポート：門平公夫さん(越谷児童相談所等ケースワーカーとして働きつつ知的障害のお兄さんと共に生きてこられた体験)

このほか、教員や友だち的立場からの体験も準備中。

昼食タイム：各自持ち寄りで

午後の部：グループに分かれておしゃべり(相談・情報交換)

オプションツアー(武里団地で一人暮らしの障害者のお宅訪問)

なお、門平さん他著の「こどもたちは、いま」(ノーマライゼーションブックレット・500円)を会場で販売しますので、よろしければお買い求め下さい(本誌8ページ参照)。

# もう一年経っちゃいました 残り一挙掲載します

## 去年の新年ア ンケート回答



### アンケート

- 1) TOKO新年号1ページで今年これから起こる変化についてお知らせしていますが、この中であなたが関心をもったことは何ですか。また、ここに出ていないことで、あなたが重要と思われることがありましたら紹介してください。
- 2) 学校での親の付き添いと介助員、補助教員等について、あなたの体験又は意見を書いてください。
- 3) 教育委員会や学校の就学指導に関して、あなたの体験や意見を書いてください。
- 4) 中学校卒業後の進学や就労について、どのように考えていますか。
- 5) 障害のある人が地域で暮らしてゆく上での生活支援、住宅、所得、介助などについて、あなたの考えや知りたいことがあったら書いてください。
- 6) 障害のある本人や親自身が情報を伝えあい、考え合ってゆくことについて、どう考えますか。また、他地域の人や親達と連絡を取り合ったり、時には交流の場をもつことについてはどう考えますか。
- 7) このTOKOのニュースについて、状況が変わったため送らないでほしい方はその旨書いてください。このニュースはいまのところ山下個人の自己責任で編集・発行しています。しかし、TOKOのおしゃべり会や教委との話し合いなどの活動は、みんなで考え創りあげていきたいと思います。今年のTOKOについて、あなたのご意見をどうぞ。
- 8) 最近うれしかったことや辛かったことなど、なんでも書いてください。

**回 答** (昨年春の時点の回答です。以前の号に掲載したもの等は省いてあります。)

越谷市 Oさん

1. 通常学級に通っているの、やはり支援員の配置ということにはとても関心があります。
2. 入学したときから親の付き添いは一切ありません。補助の先生は週3日来ていますが、他の子にほとんどつきっきりで。
3. 教育委員会の方には普通学級に行くことについては、特別に何かいわれたということは無く、ただ「お母さんがよほどがんばらないといけませんね」と言われ、覚悟をしていましたが学校の方からは「大丈夫ですよ」といってもらい、とても安心しました。
4. その時の本人の気持ちが一番だと思っていますが、今の私の考えとしては高校に入り楽しい高校生活を送って就職できたらいいなと思っています。
5. 自立して生活してゆくのに障害のある人が働いてもそれなり？生活できるお金の得ることはできるのか？
6. やはり本人やその親でないとうからないことがあるので、他の地域の人も含め交流し、情報交換をすることは大切なことだと思います。
7. 今まで子供が小さく教委とか言ってもあまりぴんと来なかったのですが、小学校に入学し支援員のことなどに関心を持つようになりました。一人で意見を言いに行くことはなかなかできなくても、話し合いの場を作っていただき、みんなでお互いの思いを言い合えるのはとてもうれしいことです。
8. 担任の先生が急病で長期のお休みになり、先生が次々と変わり、とても不安で心配になりましたが



校長先生をはじめ。他の先生方からも「大丈夫です。心配いりません」「何か気づいたことがあったらどんどん言ってください」という様な言葉をかけていただき、とてもうれしく安心しました。

### 春日部市 Iさん

1. 就職率100%の養護学校について。自力通学のできる知的障害児に限られているが、車椅子使用児の就職についても考えてほしい。
2. 介助員の質について、疑問を感じたことがあった。教委は介助員を派遣するだけでなく、その人、その仕事振りにも責任を持ってほしいです。ニーズにあった介助、及び補助をしてもらいたい。
3. 何分かしか面談しない、子供のことを知ろうともしない先生方に子供の将来、可能性を決めてほしくない。本当に子供にとってより良いのは何か、考えてほしい。
4. 高校に進学できればベストではあるが、高校（養護）卒業後が問題で、就職し自立してほしいと思います。
6. 情報というものはとても重要だと思います。交流を持つことはすばらしいと思いますが、忙しくて都合が合わないのが残念です。
8. 小学校で作文と絵画で入選し、表彰してもらえた。教育長の名の入った表彰状を見て「これで教育委員会の人にも私を認めてくれたかなあ？」と笑顔で言っていた。就学指導の際に言われたことが私だけでなく子供の心にも少なからず残っていたのだなあと思いました。最近車椅子ダンスを始めました。会員募集中です。

### 羽生市 Sさん

1. 県立養護学校の話と特別支援教育支援員の話がとても気になりました。
2. 校外学習（社会科見学やマラソン大会で校外へ移動があるものなど）には必ず付き添いを求められます。今現在介助員をつけて（クラス7人に対し3人）もっていますが、保険の問題があるので出来ませんといわれ続けています。今年、普通級に入ったお子さんにほぼ専属のように補助教員がつきっきりで介助して週1回の休みのときは介助員や先生を一人持っていかれる状態です。校長の一任でいいように使われて支援の必要性など無視されているように思います。
3. 親をどう指導するかという一心でしか話し合いの無い姿勢にいつもほとほと嫌になっています。「学校と連携をとっています。」「協力し合ってお子さんに一番良い体制を作れるようにしています。」言葉はかけてくれるもののなかなか動いてはくれません。
4. 今が精一杯でなかなか先に事が考えられません。実際に今どのように過ごされているのかお聞きしたいです。
5. 4と同じです。具体的にどのような収入を得て生活費はどれくらい、介護保険はどのくらい使っているのか。お金の流れも一緒に教えてもらいたいです。
6. 同年代の障害を持つ子供の親とは話を持つ機会があるのですが、成人された方の生活はまたその親はどんな手助けをしているのか、まったく分からないので、交流しあって情報交換できる場が地域の中でできる制度があればいいなと思います。
7. TOKO ニュースではなかなか知ることのできない教育委員会との話し合いなどを見せてもらい、とても参考になります。HPのほうで見せてもらっていますので郵送して頂かなくて大丈夫です。かえって郵送代など金銭的なところ何もお支払いせずに申し訳ありません。
8. 初めて「とって」と言われました。10年この子の親をしています。最初は「えっ？」と耳を疑い

ましたが、やっぱり空耳ではなく息子の言葉でした。次はどんな言葉が出てくるか楽しみです。

#### 越谷市 Hさん

1. 「障害児教育」が「特別支援教育」へと名称が変わり内容も変化しつつあること
3. コーディネーターという肩書きの“指導”が幅をきかせていて、今後ますます孤立化されてゆきそう。
5. 「自立支援法」の具体的な運用
6. 必要と思う
8. 東京都の情報について資料を同封します。

#### 春日部市 Hさん

1. 高校が増えるということ
3. 地区（学区内）に特学がなく、教委にいろいろと相談した。
4. 漠然と養護学校しかないのかな...と考えてます。
5. まだ将来が分かりませんが、やはり高校卒業後が気になります。
6. いいと思います
7. いつもありがとうございます。
8. 娘の絵が入選し賞状を頂いたこと

#### 千葉県長生郡 Nさん

1. 障害者自立支援法
2. 親の付き添い。入学～秋まで8ヶ月間した。付き添ったことでクラスの子供たちとの関わりなし。親が子供（自分の）見るのが当たり前とする担任で、いつも別々のお客さん扱いでした。介助員のことはよくわかりませんが、付き添わなくしたことで学校も始めて受け入れ方考えてくれました。我が家では早く付き添いをやめるべきだったと思いました。やらないことが一番だと思います。
3. 何を言われても親がどうしたいのか考えをはっきりと主張することだと思います。
4. みんなと当たり前で高校にと考えます。県立高校卒業しました（2004年）。就労もみんなの中にさせたいと考えていますが現実厳しく現在デイサービス利用中。
5. 地域でともに働くことってどういうことなんでしょうか？普通のことができることなんでしょうか？できない人はどうしたらいいのでしょうか...
6. とてもよいことだと思います。そうしたいと思っています。
7. このまま送ってください。よろしくお願いします。
8. 協力したいと申し入れあり。すごくうれしいことです。（子供のことで）

#### 鴻巣市 Tさん

1. 障害のある子も県立高校への話はとても関心がありますが、実際にはうちの子（S）が高校受験をする、なんて今は想像できません。ひらがなしか書けないのに、文章も読めないのに、そんなことが出来るとはとても...と高校は夢のような気がします。
2. 私は付き添いはしたことはありません。入学前にそういうことはあると就学指導委員会で念押しされたが必要であるかどうかやってみなければわからない旨、話、幼稚園では付き添っていなかったの

まずは一人で学校に行かせたいと話しました。

3. 去年 11 月（小 3 のとき）も教育委員会の先生に呼ばれて話し合いをしたが、とにかく「学校へ出したら最後、知らん顔では困る。付き添いをお願いすることもある」という念押しをされただけ。担任からは今までそのようなことは言われていないのに、子供の顔もめったに見ない先生に言われるのが納得できなかった。

4. 中学卒業後の進路も心配ですが、中学についてもどこにするか心配して悩んでいる。S の行く学区の中学では介助を入れて障害児も一緒に学ぶという発想はまったく無いと思うから。

5. 近辺ではどのような支援が受けられるのか、どのように生活し、就労の相談はどこにすればいいのか、知りたいことばかりです。

6. たくさんの情報、交流の場がほしいと思います。他の地域も知りたいですが、身近な人たちとの交流のもっともっとほしいと思います。

7. 子供の学校生活が落ち着いてくるとおしゃべり会から少し足が遠のいて申し訳なく思います。これから高学年、中学は、その後の進路は、と今からまたみなさんのアドバイスをいただきにたくさん参加したいと思っています。

8. うれしかったこと...友達の名前が少し呼べるようになったこと。女の子の友達で帰り際に手を振って「Aちゃん、Aちゃん」と呼んでました。辛かったこと...友だち（男の子が主）とのかかわりの中で手が出るようではぶってしまった、突き飛ばしたなどのトラブルが続いてしまった。

### 三郷市 Nさん

1. 障害がある子がいるから即介助員が必要とは思わない。それは先生が子供たちと考えてクラスにとってどうしたらまとまるか考えるきっかけになるからである。

2. 親の付き添いは低学年の場合、自分の子供だけが手がかかるわけではないことが分かる。下校の迎えだけ担った時、子供たちが一日の様子を教えてくれるので連絡帳に書いてないことがわかって良いこともあった。

3. 教育委員会にはある程度従い、でも親の考えは常に言ってきた。男親が前に出ると教育委員会もあまりしつこくなく手を引いた。

4. 社会に出るのは高校を卒業してからでもいいのではないかと思う。それは学校生活でいろいろなことは経験できるからである。

5. ひとりで生活していくには 1 ヶ月どのくらいで出来るのか知りたい。

6. 自分の住んでいるところがどれだけ住みやすいか、住みづらい所なのかわかってとてもよい。

7. 私はパソコンができないので T O K O ニュースはいろいろなことがわかってとてもよいです。

8. 子供が今年成人式に行って小学校時代の同級生が覚えていてくれて話をしたり写真を撮ってきたことがうれしかったです。

### 春日部市 ISさん

1. 教育基本法の改定で「分ける教育」の条項を変えていることです。

2. 教員の知人の話によると多動の傾向の児童がいる場合は補助の教員がほしいとの事です。

3. 少しそれますが、わが子は小 1 で普通学級に入り、担任より「どう接していいかわからない」（大変という意味で）と言われましたが、小 2 の担任からは（クラスメートと）一緒にやっているとわれ、どちらが本当かわが子の実態がわかりません。

4. 望むところに進学、就職できたらよいですが、進学は学校自体が今ゆれ動いているので、むずかしい気がします。
5. 所得についてはむずかしいですが、行政や NPO、高齢者ヘルパーの支援も大切ですが、近隣の人たちが関われば一番良いと思います。
6. 障害があるからこそ、助け合う場を持つことができ、健常であればそれすらも無く不幸な事件がおきていると思います。
7. あまり参加できず、すみません。T O K Oのニュースは私にとってとても貴重なものなので、お手数ですが引き続き送付をお願いします。
8. うれしかったことは、地味な仕事の積み重ねですが、周囲の人は自分のことを見てくれているなど思いました。辛かったことは仕事先で暴言を吐く人がおり、いつも気持ちが落ち込むことです。

### 越谷市 Mさん

1. 「介助員」「支援員」。息子には現在「補助員」が週 3 日ついています。入学時から変わらず同じ方なので、色々と話をして特別なことはしなくていいと息子のことをお願いしています。
2. 親や補助員がいると、無理やりにもでも周りを巻き込まないと、かかわりを持つ人は限られてしまうなぁと思いました。
3. 「普通学級しか考えていない」と言うと、「ものすごく努力が必要。友達関係もあまり期待しないほうがいい。本人が何かストレスを持って具合が悪くならないか心配している。」と言われました。いろいろと心配をしてくれているんだと思い、不快には感じませんでした。普通学級に入れることがとても無謀なことをしているようで気持ちが不安になりました。
4. その年頃になれば息子も希望が言えるのかなぁ？と期待しますが、親としてはどんな形であれ社会とかかわりの持てる環境でありたいと思います。親の意見を尊重してもらい、普通学級に入学した息子ですが、いろいろと問題を抱えながらも順調に過ごしているので良かったと思っています。
5. 今までいただいたT O K Oの会報やお話会での皆さんの体験や情報から少しずつ知ることができましたが、息子が将来どんな支援を必要とするのかまだ良くわからないでいます。
6. いろいろな家族会に参加していますが、それぞれ必要ですし、とても助かっています。
7. いつもT O K Oでは、今の障害児・者の置かれている状況を知ることができます。ありがとうございます。今後もできるだけおしゃべり会などに参加していろいろと勉強していきたいと思っています。
8. 息子のWは現在小学校 1 年生。入学から週 3 日の補助員といない 2 日は親がついてきました。昨年 11 月より私が 2 人目を妊娠したため、付き添いができなくなり、今は登下校時のみついています。今まで補助と親でフォローしていたことがまるっきりなくなると、初日に担任から「今まですべてお任せしていたのでてんでこまいの 1 日でした」と連絡帳に書いてありました。保護者会でも不安の声が出るなどしましたが、担任が補助のいない日は今は 1 人で 32 人を見ているが、ボランティアや補助をふやすことを要請していると説明して納得させていました。実際 2 年生からは補助が週 5 日つく話があるようです。私も複雑な気持ちですが、落ちつくまではそれでも仕方が無いかなと思っています。

### 越谷市 SYさん

1. おかしいですね。また分けるわけですね。ともに学びともに育ちませぬね。
2. 補助教員の方には 2 名ついていたいただきましたが、指導の仕方が違うので子供が大変でした。
3. この子のためと教育委員会は言います。

4. 高校へは行かないと言っているので本人に任せます。
5. 中途半端な子供が一番大変だと思います。
6. それはいいことですね。

春日部市 IDさん

1. 来年県立高校 3 校に養護学校高等部分校ができること
4. 高校に進学させたい。
6. 障害者だけが集まった集会に参加するとなんとなく悲しい。
7. いつも情報提供してくださってありがとうございます。



できました！

埼玉障害者自立生活協会の本

好評発売中

児童相談所のケースワーカー、  
障害をもつ子どもの親が語る

子どもとむきあう記録。



子どもたちは、  
いま

教育が問われている  
今だから読んでほしい

ワンコインです  
**500円**



# 共に育ち・学ぶための地域情報

## 「共に学ぶ」についてのアンケートを実施

3月16日(日) 埼玉県民活動総合センター(伊奈町)で開催された「こども 夢 未来フェスティバル」(事務局・彩の子ネットワーク)会場で、TOKOの名で来場者へのアンケートを実施した。内容は、就学時健診、就学支援委員会、高校入試での障害のある生徒への配慮などについて、どの程度知っているか、知らないかを訊ねるもの。261件の回答を得た。アンケートに応じた来場者の多くは、小さな子どもを連れた若いお母さん。集計中はまだだが、見たところ、就学時健診については「よく知っている」という回答が多いものの、他の設問についてはほとんどが「知らない」という回答だった。新聞紙上で大きくとり上げられた東松山市の就学支援委員会廃止のニュースについても、「知らない」がほとんどで、「就学支援委員会」の存在自体を知らない以上、とうぜんの結果。就学指導委員会の「指導」を「支援」と書き換え、保護者の意見聴取を義務付けるなど、ソフトな装いをこらして、振り分け機関のイメージ脱皮を図ってきた「成果」なのだろうか。実際には、学校教育法施行令22条の3別表に基づき、障害の程度により特別支援学校に行くことが望ましい子どもを振り分ける機関であることに変わらないのだが。

## 点数主義強化と障害への選抜配慮 2010年入試から

埼玉県教育局は、2010年度入試から前期募集でも学力検査を行なうなど、大幅な制度改革を行なうが、このほど発表された2010年からの選抜要項(暫定案)の片隅に「志願者から「学力検査等の措置願」が提出された場合には、これを選抜のための資料とする。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。」という1項が入った。これまでの受験上の配慮に加えて、選抜の上でも配慮するという。ただし、これまで非公開だった各高校の選抜基準を公開し、調査書の特別活動の記録等も含めてすべて点数化するので、ごくわずかな加点をすることで、「障害にはきちんと配慮しました」と切り捨てる口実に利用されないとも限らない。

どの子ども地域の公立高校へ埼玉連絡会では、これまで定員割れの場合は全員を合格させよと交渉を重ね、教育局も「定員内不合格はあってはならない」と確認し、点数が取れなくても高校で学ぶ回路を開いてきたが、「教育困難校」等で働く現場教員たちの理解は十分には得られず、また統廃合により定員割れの高校自体が減ってきた。定員割れでなくとも、障害のある生徒を含め、社会的排除を受けかねないさまざまな生徒達を積極的に高校に受け止める施策がさらに問われている。

## 県庁内で知的障害者の雇用が始まる

県議会2月定例会で、新井議員(民主)の質問に対し、加藤総合政策部長が次のように答弁した。「県では、就労へつなげることを目的に、現在、知的障害者の方を臨時職員として1名採用しております。官から民への流れの中で、県の業務についても民間委託が進んでおり、そのため、知的障害者の方に適した職を確保することが年々難しくなっておりますが、平成20年度は、部の事務を統括する主管課のうち三つの課において、知的障害者に適した業務を確保しながら臨時職員3名を採用することとしております。具体的には、部内各課の事務補助的な業務、例えばシュレッダー作業や書類の袋詰め、パソコン入力作業などの業務を集約し、取り組んでもらうものです。」埼玉障害者市民ネット等が、総合県交渉で、ずっと要望してきたこと。ただ雇用するだけに終わらせず、共に働く街への試行事業とすべき。



# 誰でも参加できるイベント情報



- 4月 2日(水) 就労支援センターガイダンス 10:00 越谷市産業雇用支援センター  
問い合わせ:越谷市就労支援センター 048-967-2422
- 3日(木) グループホーム・テレサ花見会 11:00 北越谷駅西口集合  
問い合わせ:NPO法人精神障害者の自立生活をすすめる会 048-731-3400
- 6日(日) えん交流会 10:00 一ノ割公園  
問い合わせ:春日部市障害者生活支援センターえん 048-737-3011
- 10日(木) 世一緒 de キネマ 19:00 職場参加ビューロー世一緒  
問い合わせ:NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 048-964-1819
- 14日(月) どの子ども地域の公立高校へ埼玉連絡会事務局会議  
19:00 ペんぎん広場 048-866-3832
- 16日(水) 職場参加を語る会 10:00 職場参加ビューロー世一緒  
問い合わせ:NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 048-964-1819
- 17日(木) 共に生きるための防災勉強会 19:00 こばと館日常生活訓練室  
問い合わせ:107の会(越谷市障害者計画を推進する会)090-2202-5271中山
- 27日(日) 第27回春日部藤まつり出店 10:00 春日部西口・ふじ通り  
問い合わせ:地域デイケア施設パタパタ 048-733-2743

**5・6月の予定**

(社)埼玉障害者自立生活協会  
総会 記念講演

5月25日(日) 10時  
与野本町コミュニティセンター

**ケアシステムわら細工総会**

5月31日(土) 会場未定

**NPO法人障害者の職場参加  
をすすめる会総会・記念シンポ**

6月8日(日) 1時  
埼玉県立大学研修ホール

**埼玉障害者市民ネットワーク**

**合宿** 6月14日(土)~15日(日)  
埼玉県民活動総合センター